

## 柏市自立支援協議会全体会 部会報告シート

<b>【部会名】</b> 相談支援部会	<b>【部会長】</b> 地域生活相談センター シヤル 関口 篤行
<b>【開催報告】</b> 1 相談支援部会 (1) 第2回：6月17日（金）リモートによる開催 ア 「医療的ケア児者の生活課題について知ろう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児等コーディネーター養成研修で用いた事例をもとに、相談員介入の重要なタイミングから課題や実情についてお話頂いた。また、柏市障害児等医療的ケア支援連絡会の会議体や取り組みについてお話を頂いた。</li> <li>・通学支援に関して、政策として意見があがっているものの新規サービス利用者や扶助費が増加しているため、予算が厳しい現状がある。民間と行政で検討していくべき課題が多数存在しているため、医ケア連絡会からも情報を伺いながら相談部会の中でも意見集約し、検討を重ねていくこととした。</li> </ul> (2) 第3回：8月19日（金）リモートによる開催 ア 「防災について K-Net」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・K-Net 制度の概要、K-Net における障害者の現状について柏市福祉総務課よりお話頂いた。町会が抱えている課題についても、町会自体の高齢化による対応の難しさ等があげられている。</li> <li>・個別避難計画策定モデル事業が今年度より開始され、相談員が作成する個別避難計画について、モデル事業が進む中で計画の書式や運用の仕方等の意見徴収が行われていく。</li> <li>・K-Net だけでは障害のある方の防災については補えないため、別の体制も含め検討が必要。</li> </ul> (3) 第4回：10月14日（金）リモートによる開催予定 ア 前回部会（防災について）の振り返り、まとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の施策として一体で進めていくべき課題であり、相談部会としては個別避難計画のモデル事業が進捗していき、相談部会として掘り下げるべき課題が明確になってから検討していく。</li> </ul> イ ノーマライゼーションかしわプランに向けて相談部会として取り組むべき課題の整理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画相談実務者ワーキングであがった意見を基に、意見交換を実施。ニーズの変化による「質より量を求められる点」、「地域で支える仕組み作り」の2点を中心に意見が多くあがった。また、「相談員の質」についての課題に対して、どのようにアプローチをしていくのか検討が必要で、「柏市障害者相談支援従事者人材育成指針（案）」を1つのツールとして内容のブラッシュアップを図り、前述の課題2点についても継続的に取り組んでいく。</li> </ul>	

## 2 相談支援連絡会

### (1) 第2回：7月22日（金）リモートによる開催

#### ア 新規事業所紹介

- ・新規事業所3か所から、事業所体制等についてご挨拶いただいた。

#### イ 相談支援専門員の顔が見える関係づくりとして「コロナ禍での相談支援について」をテーマとしてグループワークを2回実施。

- ・コロナ禍となり、情報共有の難しさや対面と電話での相談のそれぞれの良し悪し等、コロナでの対応の難しさを抱えている相談員が多く、相談員のメンタルケアの必要性についても意見があがっていた。また、障害者がコロナに感染した際の不安や相談を受けることも多くみられる。

## 3 計画相談実務者ワーキングチーム

### (1) 第1回：8月17日（水）リモートによる開催

#### ア 今年度の検討議題について委員で意見交換を実施。

- ・分類として①ニーズの変化（質より量）、サービス提供事業所の質の低下、②市内のバリアフリーについて、③軽度身体障害者の就労移行支援の利用について、④相談員だけでなく地域で支える仕組みづくりの必要性、⑤制度関連について意見があがり、第4回相談部会にてノーマライゼーションかしわプランに向けて取り組むべき課題の整理を行う。

### 【全体会に課題提起すべき内容】

#### 1 防災について

##### (1) 背景

- ・近年自然災害が増えている現状があり、防災への関心が高まっている。

##### (2) 部会としての課題認識

- ・障害のある方の防災については K-Net だけでは補えず、相談部会だけで検討するのではなく、他部会からの防災に関する課題感をあげ、障害分野からの課題を柏市全体として検討していく必要がある。
- ・自助、公助、共助のそれぞれの視点で検討が必要。

#### 2 ノーマライゼーションかしわプランについて

##### (1) 背景

- ・計画相談実務者ワーキングチームで地域の課題について意見出しを行い、部会で課題整理を実施。

##### (2) 部会としての課題認識

- ・「柏市障害者相談支援従事者人材育成指針（案）」を1つのツールとして内容のブラッシュアップを図り、継続的に検討していく。

**【今後の活用予定】**

1 相談支援部会

(1) 第5回：12月16日（金）リモートによる開催

(2) 第6回：2月17日（金）リモートによる開催

2 相談支援連絡会

(1) 第3回：10月21日（金）リモートによる開催

(2) 第4回：12月23日（金）未定

3 計画相談実務者ワーキングチーム

(1) 第2回：11月16日（水）リモートによる開催

(2) 第3回：2月15日（水）リモートによる開催

<p>【部会名】 くらし部会</p>	<p>【担当】 社会福祉法人 彩会 平山 隆</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 居宅支援連絡会</p> <p>(1) 第1回：7月8日（金）リモートによる開催</p> <p>ア 感染症と助成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防手当のような限定的なものが柏市単独事業の地域生活支援事業にあるとよいという意見があった。</li> <li>・コロナ禍で外出支援の事業所が潰れてしまうと、コロナ禍あけに利用者の楽しみや生活の潤いがなくなってしまうので、事業所を守ってほしい。</li> <li>・コロナ禍の居宅介護や移動支援の利用実績について、柏市のプラン評価では平年並みとなっていたが、事業所ごとに増減があったと思われ、実態を細かく把握し、市に理解をいただく為に今年度もアンケートを実施予定。</li> </ul> <p>イ 非常災害時の協力体制（BCP 作成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用と感染症用と2種類作成する必要があり、感染症は優先順位や備品に関して記入した形だが、災害については職員を守る意味でも条件設定が難しいという意見があった。</li> <li>・事業所と利用者の契約が基本になるので、他の事業所のヘルパーの支援が難しいという意見があった。非常災害時の事業所同士の協力体制は難しい。</li> </ul> <p>2 グループホーム等連絡会</p> <p>(1) 第1回：7月19日（火）リモートによる開催</p> <p>ア GH等支援ワーカーの現状（虐待等の課題を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、GHの実態把握や連絡会の研修内容や課題についてアンケートを予定している。</li> <li>・介護保険への移行、金銭管理、日中活動に行けない方への悩みや、利用者のマッチングや課題についてグループホーム等支援ワーカーに相談をしたいという意見があった。</li> <li>・世話人が抱えている悩みの相談ができる場や、情報交換会や研修会などがあると助かるという意見があった。</li> </ul> <p>3 くらし部会</p> <p>(1) 第2回：10月17日（月）対面及びリモートによる開催</p> <p>ア 居宅支援事業所向けアンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度実施したが回収率が悪かった為、内容を修正して再度取り直す。</li> <li>・平成30年と令和3年の収支を比較することで、コロナ前とコロナ禍での比較が明確になり、コロナの影響がどの程度あったかが分かるのではと考えている。</li> <li>・ヘルパーの数の増減も調査項目に入れられないかという意見もあった。</li> </ul>	

- ・コロナ禍の影響で、事業所を閉鎖したり、運営できなくなっている事業所はあるのかという質問があったが、サービス内容の一部が減った事業所はあるが、廃止した事業所は非常に少ない。

#### イ グループホーム事業所向けアンケートについて

- ・グループホーム等支援ワーカーについて、実態調査が必要と考えており、データに基づいて、グループホーム等支援ワーカー設置の実現に向けて動いていく。
- ・実際に医療的ケアの支援を行っているグループホームが何カ所あるかという把握も必要ではないかという意見があり、医療的ケアの支援の実績の有無を尋ねる設問で、「現在受け入れている」という明確な項目を入れることにした。
- ・退居者の理由を尋ねる項目で、マイナスな印象を与える選択肢が多いという意見があった。
- ・グループホーム等支援ワーカーを知らない方に向けて、役割の説明などを付けてもいいのではという意見があった。

#### ウ 日中支援型グループホーム評価委員について（概要）

- ・日中支援型グループホーム評価チームの、今後の予定とメンバーについて説明。

#### エ 生活介護事業所等の部会参加について

- ・部会長より、生活介護事業所等の方にくらし部会に委員として参加していただく方針で進めることになった。

### 【全体会に課題提起すべき内容】

#### 1 生活介護事業所等の部会参加について

##### (1) 背景

- ・現在、生活介護事業所の課題を拾い、検討する場がないという現状がある。

##### (2) 部会としての課題認識

- ・くらし部会委員に生活介護事業所、地域活動支援センターの職員に参加いただく。

### 【今後の活動予定】

#### 1 くらし部会

- (1) 第3回：1月16日（水）対面及びリモートによる開催

#### 2 居宅支援連絡会

- (1) 第2回：11月7日（月）対面及びリモートによる開催

#### 3 グループホーム等連絡会

- (1) 第2回：11月16日（水）対面及びリモートによる開催

<p>【部会名】 はたらく部会</p>	<p>【担当】 かるのこ 室山 圭史</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 はたらく部会</p> <p>(1) 第2回：8月25日（木）WEBによる開催</p> <p>ア 進捗報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各連絡会の進捗について報告をいただいた。</li> <li>・詳細は「2 一般就労連絡会」「3 福祉的就労連絡会」に記載。</li> </ul> <p>イ 生活介護事業所の参加について（福祉的就労連絡会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会長より第1回自立支援協議会の報告を行い、意見交換。</li> <li>・はたらく部会としては、希望がある生活介護事業所のみ福祉的就労連絡会にご参加いただく方向で提案したい。</li> </ul> <p>ウ 地域資源の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼南商工会の代表委員より、会社と各事業所が複数集まって、共同で新たな作業所や工場を作り効率良く作業を行う仕組みづくりなど、事業者が興味を持つようなテーマがあれば良いとの意見をいただいた。</li> <li>・はたらく部会として、障害を持っている方でも取り組める仕事を企業から提案いただくための橋渡しになれば良い。引き続き検討する。</li> </ul> <p>エ 障害者差別解消法の義務化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松戸公共職業安定所より、障害者差別解消法の義務化について説明いただいた。</li> <li>・企業側より、腫物に触るような扱いになってしまうことや指導が行いにくくなるなど、色々な問題が起こる可能性は高くなるため、指導方法などを国や地域施設からご指導いただければとの意見があった。</li> </ul> <p>2 一般就労連絡会</p> <p>(1) 第2回：9月29日（木）WEBによる開催</p> <p>ア 企業向け周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元で障害者が働ける形を目指し、柏市単独の障害者雇用に関する企業向け相談会「キックオフミーティング～共に踏み出す障害者雇用の導入から採用まで～」を11月18日に開催予定。</li> <li>・主に柏市内の企業で障害者雇用未達成、特に0人企業を対象。</li> <li>・一般就労連絡会の委員に協力いただき、参加事業所ごとに個別の担当者を配置し、障害者雇用に関する悩み等について相談できる場を設ける。</li> </ul> <p>イ 支援者のスキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第1回なんでも座談会」を9月22日に開催。実行委員あわせて20名参加。テーマは定めず自由に話すことで横の繋がりを意識できたことや、悩み事の相談などもあり、楽しかったとの意見が多くあった。</li> <li>・今後は3ヵ月に1回のペースで開催予定。</li> </ul>	

#### ウ ジョブコーチの周知と活用

- ・当事者向けだけでなく企業向けのチラシを作成予定。
- ・新規で委託事業者を登録し、10月から新たにジョブコーチを拡充。
- ・利用者の今年度実績は2名。10月から1名が利用予定。利用の際は、障害福祉課就労支援担当が窓口となる。
- ・業務の切り出しについて、現状ではジョブコーチの業務内容として示されていない。今後事例を積み上げる中でニーズが見えれば、意見を挙げていきたい。

#### エ その他

- ・障害者就業・生活支援センターの在り方の変化や、就労定着支援事業終了後の利用者が気兼ねなく集まれるコミュニティについて等、意見があった。コミュニティの場については引き続き検討を行う。
- ・あえーるワークスより、福祉事業所説明会のお知らせあり。
- ・障害福祉課より、福祉施設から一般就労への就職者数が減少したと報告があった。事業所の現状を踏まえ、減少の背景を探っていきたい。

### 3 福祉的就労連絡会

#### (1) 第2回：9月29日（木）WEBによる開催

##### ア 農福連携の取組みについて

- ・県主催で11月7日に「千葉県農福連携現場見学会」が柏市で実施される。ハウス内の清掃作業や、当日の天候と人数次第ではサツマイモの収穫作業を行う予定。

##### イ 合同販売会の企画について

- ・丸井柏店と豊四季活動館の実施報告と反省点及び課題について、各担当より報告いただいた。
- ・「かしわMONOづくりマルシェ in 道の駅しょうなん」を10月7日に開催。14事業所が参加。
- ・セブンパークアリオ柏での販売会は12月に開催予定。募集要領ができ次第配布。

##### ウ 柏市版事業所ハンドブックの作成（情報発信）について

- ・基本情報シートの進捗について、NPO法人テラス21より報告。
- ・シートの中身について委員より意見を抽出。保護者が欲しい情報でよく聞く内容としては、施設までのアクセス情報など。
- ・今後、事業所だけでなく保護者や関係機関からの意見を取り入れていく。

##### エ その他

- ・生活介護の連絡会参加について、部会報告とあわせて部会長より提案。
- ・令和3年度の工賃実績について、障害福祉課より報告。
- ・工賃向上の課題として、コロナウイルスや物価高騰の影響、通所が安定しない利用者、単価の高い仕事の見つけにくさ等の意見があった。

・あえーるワークスより、福祉事業所説明会のお知らせをいただいた。

**【全体会に課題提起すべき内容】**

1 福祉的就労連絡会への生活介護事業所の参加について

(1) 背景

・生活介護事業所の課題を拾い、検討する場がないという現状がある。

(2) 部会としての課題認識

・作業や工賃向上に対し熱心に取り組まれている生活介護事業所はある。連絡会の目的や方向性にご理解いただければ、希望のある事業所にご参加いただく形がよいと考えている。

**【今後の活動予定】**

1 はたらく部会

(1) 第3回：1月26日（木）対面及びWEBによる開催

2 一般就労連絡会

(1) 第3回：1月11日（水）対面及びWEBによる開催

3 福祉的就労連絡会

(1) 第3回：1月11日（水）対面及びWEBによる開催

<p>【部会名】 こども部会</p>	<p>【担当】 社会福祉法人 桐友学園 新福 麻由美</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 こども部会</p> <p>(1) 第2回：9月21日（水）対面とZoom併用による開催</p> <p>ア 第1回事業担当者会議を受けて一虐待対応の実態・困り感の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会の設置状況についてアンケートを実施し、現状と課題を検討した。</li> <li>・小規模事業所からは、委員会設置と運営の在り方等について課題感が挙げられた。</li> <li>・保護者が事業所に対して疑問があれば、声をあげやすい関係性作りも重要。</li> <li>・児童虐待防止への取り組みについては、継続課題として引き続き検討する。</li> </ul> <p>イ 保育所等訪問支援の年齢制限について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問支援の概要とガイドライン作成の進捗状況について共有。</li> <li>・国の動向を鑑みながら各機関で意見交換し、より良い支援を引き続き検討する。</li> <li>・保育所等訪問支援の年齢引き上げについて早急な検討を必要とする意見もある。</li> </ul> <p>ウ 情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県医療的ケア児等支援センターについて情報共有。</li> <li>・医療的ケア児のダイレクト避難や発電機の必要性について意見があがった。</li> </ul> <p>2 事業担当者会議</p> <p>(2) 第1回：9月9日（金）Zoomによる開催</p> <p>虐待防止の取り組みについて、グループ協議を行った。主な意見は下記の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の振り返りや職員間の共有等が日々行えると虐待防止になる。</li> <li>・職員のセルフチェックシート、ストレスチェックシートの実施等を行っている。</li> <li>・セルフプラン利用者への対応が難しく、計画相談に繋がることが望まれる。</li> <li>・市からも市への相談の仕方や対応例等を分かりやすく伝達してほしい。</li> </ul> <p>2 児童発達支援事業所連絡会</p> <p>(1) 第1回：7月27日（水）対面とZoom併用による開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会について情報共有を行った。</li> <li>・サポートファイル、保育所等訪問支援のガイドライン作成の進捗状況の共有。</li> </ul> <p>【全体会に課題提起すべき内容】</p> <p>1 虐待防止強化への取り組みについて</p> <p>(1) 背景</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会の設置・運営への困り感を吸い上げ、引き続き検討する必要がある。</li> </ul> <p>(2) 部会としての課題認識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会の設置状況は、事業所規模による差異がある。</li> <li>・市への報告の仕方や対応例について、市と協働して周知を図っていく必要がある。</li> </ul>	

【今後の活動予定】

1 こども部会

(1) 第3回：令和5年1月23日（月）対面とZoom併用による開催

2 事業担当者会議

第2回：11月30日（水）開催方法未定

3 児童発達支援事業所連絡会

第2回：研修会形式での開催を予定

4 早期支援担当者会議 未定

<p><b>【部会名】</b>          柏市障害者差別解消支援地域協議会          柏市権利擁護ネットワーク会議における          障害者に関する専門部会</p>	<p><b>【担当】</b>          柏市障害福祉課 田中</p>
<p><b>【開催報告】</b></p> <p>1 柏市障害者差別解消支援地域協議会及び柏市権利擁護ネットワーク会議における          障害者に関する専門部会</p> <p>(1) 第2回：9月9日（金）対面及びWEBによる開催</p> <p>ア 第1部</p> <p>(ア) 障害者虐待・差別相談の受付状況について          事務局(障害福祉課)より、8月末時点の虐待通報・届出の状況、差別相談の受付状況、成年後見制度利用支援事業について報告し、協議を行った。</p> <p>(イ) 東葛市町村虐待防止担当者勉強会について（報告）          虐待対応の質の向上と連携強化を目的に、近隣自治体の虐待担当者と勉強会を開催したため、事務局より報告した（今回は厚労省・千葉県の虐待担当者にも参加いただき、講義と助言を受けた。今後も開催する予定）。</p> <p>(ウ) 柏市障害者虐待防止サポートチーム事業（仮）について          事務局より、令和5年度よりモデル運用を目指す当該事業について、概要と、福祉サービス事業所向けに行ったニーズ調査の結果を報告し、協議を行った。</p> <p>(エ) 障害者差別解消に向けた取組みについて          昨年度、改正障害者差別解消法が成立したことを受け、事業所における合理的配慮の義務化に関する周知、啓発について協議を行った。</p> <p>イ 第2部          事例紹介（養護者による虐待事例の対応について）</p> <p>2 柏市障害者権利擁護研修会</p> <p>(1) 第1回：7月22日（金）WEBによる開催          「障害者虐待防止について」 165名参加          講師 萩原 得誉弁護士（東葛総合法律事務所）</p> <p>(2) 第2回：10月21日（金）WEBによる開催          「障害福祉サービス事業所における障害者虐待防止に係る取組みについて」          講師 林 晃弘理事長（社会福祉法人フラット）</p>	
<p><b>【今後の活動予定】</b></p> <p>1 柏市障害者差別解消支援地域協議会及び柏市権利擁護ネットワーク会議における          障害者に関する専門部会          第3回：1月13日（金）開催方法は未定</p> <p>2 柏市障害者権利擁護研修会          第3回：2月24日（金）「精神科における権利擁護」WEBによる開催予定          講師 青山 浩平氏（NHKディレクター）</p>	

<p><b>【部会名】</b>          柏市障害者差別解消支援地域協議会          柏市権利擁護ネットワーク会議における          障害者に関する専門部会</p>	<p><b>【担当】</b>          柏市障害福祉課 田中</p>
<p><b>【開催報告】</b></p> <p>1 柏市障害者差別解消支援地域協議会及び柏市権利擁護ネットワーク会議における          障害者に関する専門部会</p> <p>(1) 第2回：9月9日（金）対面及びWEBによる開催</p> <p>ア 第1部</p> <p>(ア) 障害者虐待・差別相談の受付状況について</p> <p>(イ) 第1回柏市障害者権利擁護研修会について（報告）</p> <p>(ウ) 東葛市町村虐待防止担当者勉強会について（報告）</p> <p>(エ) 柏市障害者虐待防止サポートチーム事業（仮）について</p> <p>(オ) 障害者差別解消に向けた取組みについて</p> <p>イ 第2部</p> <p>事例紹介（養護者による虐待事例の対応について）</p> <p>2 柏市障害者権利擁護研修会</p> <p>(1) 第1回：7月22日（金）WEBによる開催          「障害者虐待防止について」 165名参加          講師 萩原 得誉弁護士（東葛総合法律事務所）</p> <p>(2) 第2回：10月21日（金）WEBによる開催          「障害福祉サービス事業所における障害者虐待防止に係る取組みについて」          講師 林 晃弘理事長（社会福祉法人フラット）</p>	
<p><b>【今後の活動予定】</b></p> <p>1 柏市障害者差別解消支援地域協議会及び柏市権利擁護ネットワーク会議における          障害者に関する専門部会</p> <p>第3回：1月13日（金）開催方法は未定</p> <p>2 柏市障害者権利擁護研修会</p> <p>第3回：2月24日（金）「精神科における権利擁護」WEBによる開催予定          講師 青山 浩平氏（NHKディレクター）</p>	

<p>【部会名】 柏市障害児等医療的ケア支援連絡会</p>	<p>【担当】 社会福祉法人ぶるーむ 後藤 慎也</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 全体会（年度中及び年度末の年2回開催予定）</p> <p>(1) 第1回：10月13日（木）</p> <p>ア 保育運営課より、市立保育園での医ケア児受入れについて報告。 今年度は3名の医ケア児の受入れ審査を実施。うち1名は保留、1名は医ケア児の要件から外れたため通常枠での受入れ、1名を医ケア児として月から受入れ開始。</p> <p>イ ワーキング進捗報告（下記参照）</p> <p>ウ 今後の連絡会活動について 活動の進捗状況や今後の方向性、目標等を連絡会委員や医ケアコーディネーター間で共有を深められるよう、ロードマップの作成を提案、承認された。 これに伴い、今年度下半期の連絡会の活動をロードマップ作成に充てること、現在3グループに分かれているワーキングを再編し、児童、成人それぞれに関する課題について取り扱う2グループに分けて活動することとした。</p> <p>2 コアメンバー会議（全体会前及び協議を要する事項があり次第随時開催）</p> <p>(1) 第1回：9月15日（木）ラコルタ柏 福社会議室にて</p> <p>ア 各ワーキングの進捗報告</p> <p>イ 今後の医ケア連絡会の進め方について 医療的ケアを必要とする障害児者やご家族が安心して暮らすことのできる柏市づくりという目的を見失わないよう、ロードマップの導入を検討。 →素案を提出し、本会議で内容の承認を求める。</p> <p>ウ 災害対策について 市の障害福祉施策全体の動向に歩調を合わせる必要があることなので、医ケアに限らず「自立支援協議会」の場で協議することが適当。災害対策に関する医ケア児者の課題については「自立支援協議会」に出席している座長から提言していく。</p> <p>3 ワーキンググループ</p> <p>○ 高校卒業後の地域生活について</p> <p>(1) 第1回：9月12日（月）地域生活支援拠点ぶるーむの風会議室にて 市内サービス提供事業所を対象に、医療的ケアの提供体制等に関するアンケートを実施。集計結果の分析と課題整理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定行為研修（実地研修）を受け易くする仕組み作り</li> <li>・ 重度化高齢化を絡めた啓発の取組</li> <li>・ 人材確保のために必要な施策・体制整備に関する提言</li> </ul> <p>について、コア会議・全体会に意見を頂き、今後の取組の方向性を検討する。</p>	

**【今後の活用予定】**

- 1 第2回全体会：2023年2月～3月開催予定。
- 2 コアメンバー会議：11月7日（金）ロードマップ作成について

<p><b>【部会名】</b> 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業</p>	<p><b>【担当】</b> たんぽぽセンター 森根</p>
<p><b>【開催報告】</b></p> <p>1 コア会議</p> <p>(1) 第2回：6月22日（水）対面による開催</p> <p>(2) 第3回：8月23日（水）対面による開催</p> <p>ア 第1回、第2回実務者会議を受けて今年度の各グループの方向性と取組の共有</p> <p>①第1グループ（普及啓発グループ）</p> <p><b>【方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発の動画作成に取り組む。</li> <li>・広く市民が集まるところへ周知。</li> <li>・動画班とチラシ班に分かれて活動する。</li> </ul> <p><b>【取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ班 12月のはたらく部会のイベント等までに、名刺サイズのチラシ作成を予定。デザインはピア交流会チラシ作成実績のあるひだクリニックの（当事者）平林氏に依頼。</li> <li>・動画班 相談先一覧のスライド、QRコード（にも包括の説明スライドへリンク）の掲載を予定。</li> </ul> <p>②第2グループ（医療グループ）</p> <p><b>【方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SOSプラン作成後のケース経過と効果の確認・評価を実施。</li> <li>・自己紹介シートの活用の検討</li> </ul> <p><b>【取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組についての意見交換を行い、目標設定を模索中。</li> </ul> <p>③第3グループ（障害福祉・介護グループ）</p> <p><b>【方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉と介護の連携促進に向けて、支援者向けツール（チラシ等）の作成。</li> <li>・ツール（チラシ等）の作成に向けて連携事例の検討を行う。</li> </ul> <p><b>【取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉と介護の連携事例の共有と検討。</li> <li>・支援者向けツール（チラシ等）の内容検討。</li> <li>・連携促進のための、柏市重層的支援体制整備事業と共催で支援者向け研修会の企画。</li> </ul> <p>イ 代表者会議に向けたタイムスケジュールの確認</p> <p>実務者会議での議論は11月を目途に議論を終了し、形を作ること。1月は、代表</p>	

者会議に向けての準備会とする。

ウ 圏域コーディネーター会議の共有

(3) 第4回：10月26日（水）対面による開催（予定）

## 2 実務者会議

(1) 第2回：7月27日（水）Zoomによる開催

ア 代表者会議の日程について

・日時：R5年2月9日（木）14：00～16：00

・場所：沼南庁舎（仮）

イ グループワーク

各グループに分かれ活動を実施。 ※詳細は上記コア会議内容を参照

(2) 第3回：9月28日（水）対面による開催

ア グループワーク

各グループに分かれ活動を実施。 ※詳細は上記コア会議内容を参照

### 【その他】

### 【今後の活用予定】

#### 1 コア会議

(1) 第5回：10月26日（水）対面による開催

(2) 第6回：12月21日（水）対面による開催

#### 2 実務者部会

(1) 第4回：11月30日（水）対面による開催

(2) 第5回：1月25日（水）対面による開催

#### 3 代表者会議

(1) 日時：R5年2月9日（木）14：00～16：00

場所：沼南庁舎（仮）

<p>【部会名】 柏市地域生活支援拠点運営協議会</p>	<p>【担当】 障害福祉課：萩原・小野</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 柏市地域生活支援拠点運営協議会</p> <p>(1) 第1回：6月14日（火）対面による開催</p> <p>ア 令和3年度柏市相談支援機能強化事業等評価について 地域生活支援拠点の5つの機能及び基幹相談支援センターの役割項目についての評価報告を行い、良い評価だけではなく、課題についても報告し、改善点など明確にしてほしい等の意見があった。</p> <p>イ 令和3年度各拠点の活動報告 各拠点代表者から令和3年度活動報告を行い、意見交換を行った。各拠点共に緊急案件や緊急受け入れ件数が減っており、新型コロナの影響が非常に大きかったとのことであった。</p> <p>ウ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点の共通課題の抽出について</li> <li>・拠点間の連携について →<u>拠点職員実務者による4拠点会議を毎月開催。その中で緊急時対応ケースの共有や連携について課題共有している。</u></li> <li>・何かあった際の対応について、拠点に求めることや役割について</li> <li>・災害時の拠点の役割について</li> <li>・生活介護の事業所が参加できる部会が無い →<u>現在、くらし部会で生活介護枠の参加を検討中</u></li> </ul> <p>※ 前回全体会以降に会議を実施していないため、概ね前回同様、下線部のみ追記</p>	
<p>【今後の活動予定】</p> <p>1 柏市地域生活支援拠点運営協議会 令和4年度は、年2回の開催予定 次回は、令和4年12月頃を予定 <u>(現在、日程調整中)</u></p>	